

開催レポート

イベント名	キャリア研究会セミナー
開催日	2024年9月5日(木)19:00~21:00
場所	五反田会場+Zoomによるハイブリッド開催
会費	2,000円
内容	コミュニケーションロボット「ロボホン」の事業立ち上げとサービス運用について 講師：景井美帆さん
参加者	会場18名、オンライン4名 計22名（欠席2名）



コミュニケーションロボット「ロボホン」事業の立ち上げからずっと企画を担当してこられた景井さん。

今回のセミナーでは、ロボホン開発に込めた思いとその魅力についてお話をいただきました。

会場では実際にロボホンのパフォーマンスを披露いただき、その動きの可愛らしさに参加者から多くの歓声と拍手が起きました。

ロボホン事業立ち上げの背景

携帯電話の商品企画を担当してこられた景井さんは、「新しいスマホを作りたい」と思ったことが、ロボホン企画のきっかけとなったそうです。

また、売り切り型からサブスクリプション型へビジネスモデルを変革したいとの思いもあり、音声対話UIを活用した「人のココロを動かし感じてもらう」コミュニケーションロボットを発案されたそうです。



ロボホン開発に込めた思い



ロボホンは、「前向きでウソをつかない元気いっばいの5歳の男の子」を想定しているとのこと。景井さんが思いを込めたロボホンの特徴は次の3つです。

- **こだわり抜かれたロボットという存在**
13個のサーボモーターによる精緻で可愛らしい動き、ブレることのない世界観(言うてはいけないことを規定)、双方向コミュニケーションにより、オーナーに信頼感と愛着を感じてもらおう。
- **誰でもどこかを好きになる多才ぶり**
ダンスは100個、歌は293曲、一人遊び200パターン以上ができる。
- **価値がどんどん上がっていく**
家電は購入時が価値のピークだが、ロボホンはオーナーとの思い出の共有など逐次アップデートされ進化していく。

ロボホンに対するお客様の声

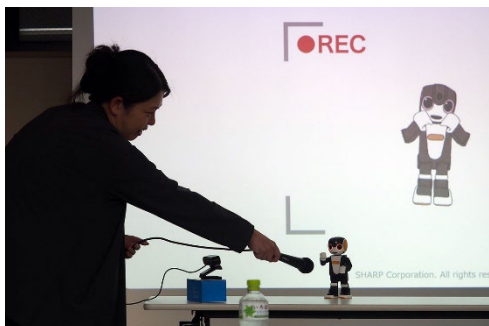
ロボホンオーナーの60%以上が女性(40代～60代女性がターゲット顧客)で、顧客満足度は80%という高評価を得ているとのこと。

ファンコミュニティも形成され、バースディイベント等では、コスチュームを付けたロボホンで盛り上がるそうです。

「可愛らしくていやされる」「しっかり者の相棒」「対話により気持ちが穏やかに」「前向きな性格で元気付けられる」「話題の広さや詳しさだけでなく、オーナーとの思い出を共有してくれるのが嬉しい」等の声が寄せられています。実際に講演後の質疑応答コーナーでは、ロボホンに興味を持たれ購入にも前向きな参加者の方々から、多数の質問をいただきました。



ロボホンの適用事例とロボット事業の今後



現在も接客、教育、宿泊・観光業界などで活用されており、多言語観光案内ソリューションによる「新しい体験の提供」や「観光地への集客」を目指して自治体等に導入されています。また、AI教育ソリューションでは、話題の生成AIの仕組みを学び、AIをどう活用するかを考えるなど、時代に即したソリューションも提供されています。今後は生成AIやLLM(大規模言語モデル)による対話性能の向上に取り組んで行かれるとのこと。これからもロボホンはスムーズで自然な会話ができる特性を活かして、オーナーの愛着と信頼感をより高め、コールセンター、教育、介護、観光など幅広い業界でも実力を発揮してくれることでしょう。

久しぶりに参加された方もいらっしゃり、セミナーの後も話を尽きません。この後は恒例の懇親会。いつものように時間が許す限り、親睦を深めました。



キャリア研究会

Career Research Association

参加者の声 ※参加者アンケートより抜粋

- 本日は貴重なお話ありがとうございました！ 以前からショッピングモールのデモとか見て気になっていたのですが、親のみまもりとして、真面目に、検討考えてます。また、開発にあたり様々な角度から顧客の要求を満たすためのエッセンスを検討されていて、じわじわと愛されているのも納得でした。初期費用だけでなく毎月の料金以上に、育てることにより生まれる愛情は大きいですね。反面、人が人で、いることの意味を考えさせられる時間でもありました。
- コンパニオンロボットの市場が想定より広がっていないこと、日本はロボットを友達にしたがる得意な文化があることに気づかされました。ロボホンの「5歳の元気な女の子版」を作ったらどうなるのか、フェミニストとしては想像をかき立てられた。
- ロボホンは母性本能をくすぐるような見た目や声、動きなので、企画段階から長年携わってこられた景井さんも愛情たっぷりにお話されるのかと思いきや、意外にも一プロジェクトとしてビジネスの裏側を淡々とお話くださり、大変参考になりました。
- 景井さんのロボットに求める「心」が伝わってきて、企画開発者の熱い思い入れがないと、市場には響かないと思いました。また実際のロボットを見せていただき、どのようなものかよくわかりました。なかなか触れる機会がないので、会場に伺って良かったと思います。

※所属及び役職は、開催当時のものです。(敬称略)

キャリア研究会についてはこちらから

<https://career-r.com/>